

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公表番号】特表2003-526643(P2003-526643A)

【公表日】平成15年9月9日 (2003.9.9)

【出願番号】特願2001-566503(P2001-566503)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 1 1 D 1/04 (2006.01)

C 1 1 D 1/28 (2006.01)

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

C 1 1 D 3/34 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 17/06 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 7/50

C 0 9 K 3/00 U

C 1 1 D 1/04

C 1 1 D 1/28

C 1 1 D 3/20

C 1 1 D 3/34

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 17/06

C 1 1 D 17/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月27日 (2007.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ボディ洗浄棒状組成物であって、

(1) 脂肪酸又は合成陰イオン物質である 2 から 8 0 重量%の第一陰イオン界面活性剤

、

(2) 0 から 2 5 重量%の第二界面活性剤、

(3) 0 から 1 5 重量%の遊離脂肪酸、

(4) 石けんでもなく、また非石けん洗剤でもない、4 0 から 1 0 0 の範囲内の融点を持つ、0 から 2 0 重量%の水溶性構造物質 (s t r u c t u r a n t) 、及び

(5) 遮光剤及び / 又はその塩が 2 以上 2 5 までの S P F を持つ、0 . 1 から 1 0 % の遮光剤及び / 又はその塩

を含み、

遮光剤 / 塩が、中性 p H の H₂O 中で測定したとき 0 . 1 % 又はそれ以上の溶解度を持ち、そして

組成物の石けん泡が、1 0 秒間振とうした 1 0 0 m l メスシリンダーで測定したとき 3

0 秒後に 5 0 % 以下しか分解しない組成物。

【請求項 2】 第一界面活性剤 (a) がイセチオン酸アシルであり、第二界面活性剤 (b) が石けんである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 第一界面活性剤 (a) が石けんである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】 1 から 2 0 % の第二界面活性剤を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】 1 から 1 5 % の遊離脂肪酸を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】 (4) がポリアルキレングリコールである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】 (5) がモノステアリン酸グリセロールである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】 遮光剤成分が、フェニルベンズイミダゾールスルホン酸の陰イオン塩又はその混合物；フェルラ酸の陰イオン塩又はその混合物；及びベンゾフェノンの陰イオン塩又はその混合物から成る群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】 S P F が 3 から 2 0 である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 0】 S P F が 4 から 1 5 である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 1】 ボディ洗浄液体組成物であって、

(1) 1 0 から 8 0 % の第一陰イオン界面活性剤、

(2) 第一とは異なる陰イオン界面活性剤、両性 / 双性イオン性界面活性剤、陽イオン界面活性剤及びそれらの混合物から成る群から選択される 0 から 1 5 % の第二界面活性剤

、

(3) 0 . 1 から 1 0 % の陰イオン遮光剤、

(4) バランス量の水、

を含み、

S P F が 2 以上 2 5 までであり、

遮光剤 / 塩が、中性 p H の H₂O 中で測定したとき 0 . 1 % 又はそれ以上の溶解度を持ち、そして

組成物の石けん泡が、1 0 秒間振とうした 1 0 0 m l メスシリンダーで測定したとき 3 0 秒後に 5 0 % 以下しか分解しない組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

1 つの実施形態では、本発明は、

脂肪酸石けん又は合成陰イオン物質である 2 0 から 8 5 重量%の第一陰イオン界面活性剤、

、

第二陰イオン界面活性剤 (第一とは異なる)、非イオン性界面活性剤、両性 / 双性イオン性界面活性剤、陽イオン界面活性剤及びそれらの混合物から成る群から選択される 0 から 2 5 重量%の第二界面活性剤、

0 から 1 5 重量%の遊離脂肪酸 (特に棒状組成物が主として棒状脂肪酸石けんである場合)、

石けんでもなく、また非石けん洗剤でもない、4 0 から 1 0 0 の範囲内の融点を持つ、0 から 2 0 % の水溶性構造物質 (例えばポリアルキレングリコール、E O - P O コポリマー)、

C₁₂ - C₂₄ の鎖長を持つ 0 から 4 0 % のグリセロールモノアルカノエート、及び遮光剤及び / 又はその塩 (陰イオン電荷を与える) が 2 以上 2 5 まで、好ましくは 3 以上 2 0 まで、より好ましくは約 4 以上 1 5 までの S P F を持つ、0 . 1 から 1 0 % の遮光剤及び / 又はその塩を含み、

遮光剤及び／又は塩が、中性 pH で測定したとき重量対重量ベースで 0 . 1 % 又はそれ以上、好ましくは 0 . 5 % 以上の溶解度を持ち、そして
遮光剤及び／又は塩がより油性の成分に比べて時間を経過しても実質的に分解しない泡立ちを備える棒状組成物を含む。